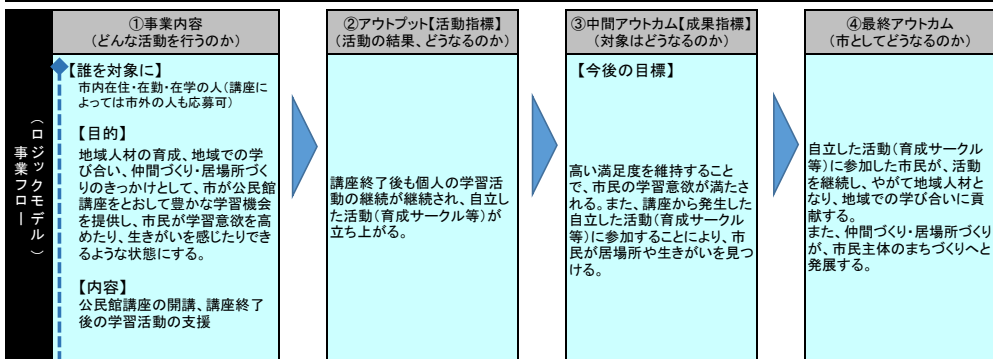


長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	21	事業名	生涯学習推進事業	担当部課	くらし文化部生涯学習課
基本情報	第6次総合計画・基本目標		1「やってみたい」でつながるまち		
	行政改革指針・重点課題		決算書 ページ	—	
	法定受託事務の有無		会計 区分	一般会計	
	その他（関係計画、要綱等）		有	9-4-1 社会教育総務費	
	事業開始の背景、経緯等		社会教育法に基づき社会教育を奨励するため、学習意欲を気軽に持つきっかけとなる公民館講座や市民が互いに学び合うことができるながくて・学び・アイ講座を開講している。		
市民・民間事業者との連携協働の可能性		両者と協働可 <small>（両者と協働不可の場合はその理由）</small>			



項目	単位	区分	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
			事業費(A)	千円	予算	1,689	1,818
人件費(B)	千円	決算	1,110	397	321	410	-
		決算	4,218	3,180	3,594	2,269	-
総コスト(C)=(A+B)	千円	決算	5,328	3,577	3,915	2,679	-
事業対象の数(D) (R5年度は想定数)	人		458	294	131	191	300
対象あたりコスト(C/D)の過去3年平均値	千円		12	12	18	19	

中間アウトカム【成果指標】の数値設定 (事業の意図を反映する指標)	単位	【現状】	【目標①】	【目標②】
		R4年度(2022)年実績	R6年度(2024)年実績	R8年度(2026)年実績
全講座アンケートの平均満足度 (指標の設定根拠)	%	86.20%	80%	80%

(数値目標の根拠: 調査名、調査年など出典)

満足度は、受講生の学習意欲を満たした指標であり、満足感を得ることが、今後の自主的な継続学習や生きがいにつながっていくため

受講者アンケートのコメントから講座満足度80%は、受講した講座に満足したか否かの基準値として、読み取ることができるため

事業開始からの経緯など	第2次長久手市生涯学習基本構想に基づき、市民が学習意欲を持つきっかけとなる公民館講座を開講している。また、講座終了後は、市民による自主的な学習及び自主学習サークル(育成サークル)の立ち上げの支援を行っている。公民館講座では、市内で活動する団体に運営を依頼する協働主催講座と、講師も受講生と共に学び合うながくて・学び・アイ講座の2種類を軸として展開している。
令和4年度の成果	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 令和4年中のながくて・学び・アイ講座については、当初公民館での開催を予定していたが、公民館の新型コロナウイルスワクチン集団接種会場としての期間が延長されたため、急きょ他の公共施設と調整し、会場を確保した。令和5年1月から公民館の一般利用を再開し、会場を公民館に戻した。ながくて・学び・アイ講座は、全体の6割を超える14講座が開講し、そのうち4割を超える6つの講座から育成サークルが立ち上がった。 (改善が必要な点、改善の方法など)
改善ポイント	ながくて・学び・アイ講座は、受講希望者が参加しやすく、魅力が伝わるような発信方法を工夫する必要があるため、特に、講座タイトルや内容、対象者を講師と相談しながら進めるように見直す。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事業の方向性) 任意団体との協働主催講座では、より多くの市民に参加してもらうために、受講生のアンケート結果を随時反映させて、講座名称、講座内容、開催時間帯等を設定する。また、ながくて・学び・アイ講座では、育成サークルの設立支援を行い、講座終了後の受講生の継続的な学習活動につなげていく。育成サークルは、令和5年度から令和6年度までに10以上成立させることを目標とする。学習の場の自主的な活性化を促進することにより、地域住民同士がつながるまちづくりを目指す。
--------	--

事務事業①	生涯学習推進事業							
活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)		単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
(1)	運営に携わる市民の人数 (講師人数)	人	見込	25	35	35	35	35
			実績	18				
(2)	【アクションプラン】 公民館講座開講数 【単年】	講座	見込	10	20	20	20	20
			実績	16				
(3)			見込					
			実績					
<備考:活動の概要(R4年度(2022))> R4年度までは、公民館が新型コロナウイルスワクチン集団接種会場となったことに伴う講座の会場変更などを考慮し、受講者数及び講座開講数の見込数値を減らしていた。							今後の方向性	改善・見直し
							コスト投入	現状維持

事務事業②	生涯学習推進事業							
活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)		単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
(1)	運営に携わる市民の人数	人	見込					
			実績					
(2)	【アクションプラン(総合計画)の 指定の指標】		見込					
			実績					
(3)			見込					
			実績					
<備考:活動の概要(R4年度(2022))>							今後の方向性	
							コスト投入	

事務事業③	生涯学習推進事業							
活動指標		単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
(1)	運営に携わる市民の人数	人	実績					
			実績					
(2)	【アクションプラン(総合計画)の 指定の指標】		見込					
			実績					
(3)			見込					
			実績					
<備考:活動の概要(R4年度(2022))>							今後の方向性	
							コスト投入	

事務事業④	生涯学習推進事業							
活動指標		単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
(1)	運営に携わる市民の人数	人	実績					
			実績					
(2)	【アクションプラン(総合計画)の 指定の指標】		見込					
			実績					
(3)			見込					
			実績					
<備考:活動の概要(R4年度(2022))>							今後の方向性	
							コスト投入	